

岡山牛沖縄へ 115頭輸出

昨年末から年始にかけて、115頭の岡山牛が沖縄へ輸出された。琉球政府では岡山県から和牛を輸入するため田港琉球農業協同組合連合会技師を岡山に派遣、同技師はラサ商事の森氏と12月22日岡山県畜連のあっせんで高梁家畜市場から初妊娠和牛63頭を買付けたが、引続き1月12日までに合計、和牛113頭（高梁市場94頭、御津郡金川市場19頭）、乳牛2頭（浅口郡にて）の買付を終わった。

買付の条件は①生後20ヵ月から36ヵ月までの牛で、初回妊娠したもの②種付証明書のある

もの③登録証又は血統証を有するもの④ブルセラ病、結核病のないもの⑤發育良好なものとなっており値段は和牛1頭当り最高6万5,000円、最低4万円、平均4万8,600円、総取引額570万円である。乳牛はホルスタイン雑種、妊娠牛で、2頭で19万円が取引された。

なお最後の船積は1月19日で完了したが、今回の輸出は昨年6月の繁殖用基礎和牛49頭の輸出について2回目である。



盛況な高梁家畜市場